

# 図書館だより

No.3

令和7年6月  
大洲中学校図書館



## いよいよ梅雨入り

早いもので6月です。6月といえば…やはり「梅雨」かな。関東地方は10日に梅雨入りしましたね。私たちのように都市部に住んでいる人にとってはあまり歓迎されない気象現象ですが、でもこの現象がないと日本の農業は文字通り半上がりってしまいます。農作物の生育にとってはとても大切な季節です。またこの季に雨が降らずに夏を迎えると深刻な水不足となってしまい、家で使える水の量が制限されたり、プールが閉鎖になったり、公園の噴水が止まったりなどして、私たちの生活がおびやかされたりもします。今年はどうなるのか、注目していきましょうね。



## 第1回目読書記録始まる！

さて、今年も「読書記録」が始まりました。1、2年生は年に4回、3年生は3回の読書記録を書き、3年間で合計11枚の読書記録が完成することになります。この読書記録は卒業記念品としてみんなが卒業する時に渡されます。受け取った時にどんな気持ちになるかは人それぞれだと思いますが、何年(何十年?)か過ぎて見返したときに、きっと大洲中での楽しかった思い出が甦っててくると思います。その時のことを考えて、一生懸命に気持ちを込めて書いてくださいね。素敵なお宝物になると思いますよ。

## 【新規購入本のお知らせ】\*展示は12日(木曜日)を予定



### ・「人間失格」 太宰治著 文響社

夏目漱石の「こころ」と累計発行部数1位を争う自伝的小説。太宰治は連載完了と同時に自殺。伝説的な小説が美しいイラストと共にライトノベル感覚で読める。ネグレクト、幼児虐待、アルコール依存、薬物依存、自殺未遂、現代に通じる社会問題が描かれ、現代の生きづらさに通じる。振り仮名、用語解説付き。



### ・「こころ」 夏目漱石著 文響社

発行部数700万部、日本で一番売れたとされる小説を、有栖サリの描いた美しいイラストとともに読める。この作品では、心の「迷い」、「悩み」、「苦しみ」などが描かれ、高校の教科書にも掲載されている。振り仮名、用語解説付きで、中学生も大人も読める。

\*上記2冊は先月号で紹介済みでしたが、配送が遅れており、今回やっと配架ができました。



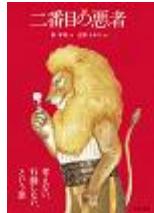
### ・「一次元の挿し木」 松下龍之介著 宝島社 \*3年生男子のリクエスト本

ヒマラヤ山中で200年前の人骨が発掘された。大学院で遺伝人類学を学ぶ悠がDNA鑑定にかけると、4年前に失踪した妹のものと一致した。不可解な鑑定結果を担当教授に相談しようとした矢先、教授が何者かに殺害され…



・「涼宮ハルヒの劇場」 松下龍之介著 谷川流 KADOKAWA \*3年生男子のリクエスト本

「涼宮ハルヒ劇場」がついに帰ってきた！ファンタジーパーク、ギャラクシーパークに続く続編は大幅完全書き下ろし！様々な世界を旅するハルヒとSOS団の活躍が収録された「涼宮ハルヒ」シリーズ最新刊！



・「2番目の悪者」 林 木林著 小さい書房 \*2学年所属小杉くるみ先生のリクエスト本

金色のたてがみを持つ金のライオンは王様になりたかった。自分こそが王にふさわしいと思っていた。ところが、街はずれに住む優しい銀のライオンが「次の王様候補」と噂に聞く。ある日、金のライオンはとんでもないことを始めた。そしてこの物語は、衝撃のラストを迎えました…。

登場するのは動物ばかり。人間はひとりも出てきません。けれど1ページ目はこの言葉から始まります。

『これが全て作り話だと言い切れるだろうか』



・「鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者」 竹内紘子著 ぐもん出版

\*第71回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書

鳥居きみ子は、「知の巨人」ともいわれ、明治から昭和時代にかけて活躍した人類学者鳥居龍蔵の妻です。

彼の生涯や研究業績を紹介した本はたくさんありますが、妻きみ子のことはこれまで紹介されたことがほとんどありません。実は、彼女は女性の活躍が厳しい時代(明治時代)を生き抜いた先駆的な研究者なのです。人類学のなかでも、昔から伝わる生活・風習・伝説・歌などを調べる民族学を切り開きました。その生涯をはじめて伝える一冊です。



・「わたしは食べるのが下手」 天川栄人著 小峰書店

\*第71回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書

少食で食べるのが遅い葵は、食事の時間が苦手。とくに給食は…。「小林さんさ、たぶん君、会食恐怖症だわ」。無理して油淋鶏を飲みこんで気持ちが悪くなった葵は、保健室でクラスの問題児、咲子にそう言われる。実は咲子も食にまつわる問題を抱えていた。咲子の勢いに押されて二人で給食ボイコットを企てるも、あえなく不発。反対に新任のイケメン栄養教諭に焼きつけられて、給食改革に乗り出すことに…。



・「きみと真夜中をぬけて」 雨著 スターツ出版 \*1年生女子のリクエスト本

家から歩いて5分ほどのところにある公園。そこは、不登校の私がいつも夜を過ごす場所だった。ある夜、公園で同じ年の男の子と知り合い、夜をともに越える友達となる。彼と出会い、何気ない日々が愛おしくなって…。



・「データブックオブ・ザワールド」 二宮書店編集部編 二宮書店

世界の全ての独立国・地域の最新データを網羅。「世界各国要覧」と自然・産業・貿易・経済など多くの分野を網羅した「統計要覧」の2部構成。地理学習や入試対策はもちろん、激動する国際情勢がコンパクトにまとめ上げられていて、高等学校の地理学習で用いる定番の統計書として多くの高等学校で採用され、大学入試問題においても本書より出題されています。

今月から新年度第1回目の読書記録が始まりましたが、なんとか間に合ったかな。今回もたくさんの人喜んでもらえると嬉しいです。

来館、お待ちしております～す＼(^o^)／